

第 58 号

# こなみ会だより

令和 5 年 1 月発行



「こなみ会」の  
ホームページ➡



発行者：南鯉城会 [こなみ会] 広報委員会  
名古屋市高年大学鯉城学園  
<https://kojyokai.net>

## 目次

【会長挨拶】	3
--------	---

### 諸活動

---

★ 趣味の作品展	4~7
★ 16区フェスティバル	8
★ 社会見学	9
★ 活動の記録	10

### 随想

---

★ 最近の私の過ごし方	11
★ 「学生歌」誕生の話	12、13
★ 熱田の森に学ぶ	14、15
★ 名古屋城あれこれ(その5)	16、17
★ 川棚の楠の森	18
★ 25会健康の森散策	19
★ パソコン同好会	20

短歌	21
----	----

俳句	22
----	----

令和4年度 役員名簿	23
------------	----

行事予定(令和5年1月~7月)、編集後記	24
----------------------	----

表紙(日本ガイシホール)

33期 生活A 山下博和

南区のシンボリックな施設であり、私たちには「レインボウホール」としておなじみだと思います。  
2007年4月1日からネーミングライツにより名称が「日本ガイシホール」となりました。



## 会長挨拶『南鯉城会令和4年度の活動について』

菊住 32期 園芸 子安正昭

令和4年度は、ウイズコロナのもと、鯉城学園再開と共に多くの行事が開催される事になりました。

鯉城会は、鶴舞公園清掃、鯉城講演会、グランド・ゴルフ交歓会、16区フェスティバルの全ての行事がコロナ以前の通り開催されました。これら各行事では、会員の皆様が力を合わせて楽しいひと時を過ごしました。OB文化祭は3月に開催予定です。

今年度の「こなみ会定例会」は毎月第3土曜日に笠寺コミセンで開催し、役員の皆様が参加され、活動計画および実施報告、会員の情報交換や親睦を図ることができました。

社会見学や日帰りバス旅行も、会員の皆様との親睦、交流が深められました。趣味の作品展は、3年ぶりに南区役所講堂で開催し、多数出展され多くの皆様に観覧していただきました。鶴舞公園、堀川沿道、国道1号線沿いの清掃ボランティアも多数の皆様の参加で開催できました。

2023年1月は熱田神宮参拝と参拝後新年会(コロナの状況により判断)。3月はウイメンズマラソンのボランティア活動を、28名で申込みしています。

同好会やクラブ活動については、グランド・ゴルフ、ペタンク、25会、軽めのハイキング、南区歴史愛好会、パソコンクラブなど活発に開催され親睦を図っています。呼続公園愛護会は第一月曜日、笠寺公園愛護会は第二月曜日に清掃活動を継続しています。

今年度はコロナ禍でしたが、『南鯉城会(こなみ会)をもっと楽しもう』を合言葉に会員皆様が全ての行事に楽しんで参加、協力して頂きました事に感謝しています。



## 趣味の作品展

コロナ禍により開催できなかった趣味の作品展が 3 年ぶりに区役所講堂で 11/28、29 の 2 日間に渡って開催されました。

出展いただいた会員、会場の準備や片付けに協力いただいた関係者、役員の皆さんのおかげで盛況に開催でき、約 200 名の方々に鑑賞していただき、会員相互の交流の場になりました。

出展作品個々の紹介は割愛させていただきますが、出展リストを添付しましたのでご参照ください。





作品部門	No.	題名	ブ ロ ッ ク	期・専攻	出品者名
<絵手紙>	1	四季の絵手紙	A	28期・福祉	川島喜美子
	2	秋を楽しむおばあちゃん		一般	久野静子
	3	四季の絵手紙		一般・伝馬	石原尚子
	4	四季の絵手紙		一般・福祉教室	刀根祐三
	5	四季の絵手紙		一般・福祉教室	刀根祐三
	6	四季の絵手紙			山下貴美子
	7	花	D	29期・健康 B	垣内洋子
	8	凧	D	29期・健康 B	垣内洋子
	9	四季の絵手紙	B	29期・健康 B	鶴田好美
	10	四季の絵手紙	B	29期・健康 B	鶴田好美
	11	四季の絵手紙	B	29期・健康 A	鈴木君代
<写真>	1	アゲハチョウと彼岸花	C	29期・福祉	大田雅巳
	2	アサギマダラとミツバチ	C	29期・福祉	大田雅巳
	3	名古屋朝顔虚心	B	24期・国際	森晴生
	4	紅葉湖の紅葉	B	24期・国際	森晴生
	5	秋の郡上八幡城	C	32期・園芸	子安正昭
<パステル画>	1	鶴舞公園	C	15期・美術	舟橋清峯
	2	茶道具	C	15期・美術	舟橋清峯
<日本画>	1	群れ	A	20期・環境	櫛田諄造
	2	秋風景	B	23期・陶芸	久野紀美子
<水彩画>	1	ちはやふる聖地	C	29期・福祉学科	米田和子
	2	雨上がりの夕陽	D	32期・美術	各務喜代子
	3	道徳公園	A	31期・福祉	遠藤源吉
	4	上高地<帝国ホテル>	C	25期・美術	福島健治
	5	牡丹	D	25期・環境	川部早苗
	6	シュート (ラクロス)	C	25期・美術	安達廣次
	7	安曇野	C	25期・美術	安達廣次
	8	白い街	A	31期・国際 B	早川洋一
	9	室生寺の夏	A	31期・国際 B	早川洋一
	10	七夕	C	25期・環境	竹内孝明
	11	月光	C	25期・環境	竹内孝明
	12	雪	C	25期・環境	竹内孝明

	13	秋の上高地	B	33期・生活A	山下博和
	14	ハルちゃん	B	33期・生活A	山下博和
	15	PEACE	C	32期・福祉	鶴見恵利子
	16	快晴	C	32期・福祉	鶴見恵利子
	17	羽子板	A	31期・美術	勝千恵子
	18	夏の日	A	一般	草田由紀枝
	19	山頂レストラン	A	一般	草田由紀枝
	20	ひまわり	A	一般	草田由紀枝
	21	思い出のラクダと	C	27期・文化A	才野良
<パソコンアート>	1		B	29期・陶芸	島田謙二
	2	呼続公園	C	31期・環境	杉浦和司
	3	呼続公園「噴水」	C	31期・環境	杉浦和司
<ろう彩画>	1	昼下がり	B	23期・文化B	伊藤博
<シャドウボックス>	1	クリスマスの夜	D	27期・環境	倉地悠美
	2	花・マグノリア	D	27期・環境	倉地悠美
	3	お手伝い	D	27期・環境	倉地悠美
<水墨画>	1	荷花清趣唐子	B	23期・陶芸	久野紀美子
	2	漓江		一般・福祉教室	刀根祐三
	3	椿	C	29期・健康	平野幸代
<書>	1	蓮華座の菩薩ささやくお堂かな	B	32期・生活A	原智恵子
<手工芸>	1	マクラメで十二支	D	27期・生活	高見啓子
	2	椅子用マット	D	27期・生活	高見啓子
	3	ねこの兄弟	D	33期・文化	太田敏子
手工芸・編み物	4	夏のやさしさ	B	31期・園芸	中辻美枝子
手工芸・編み物	5	ベスト&スヌード	C	29期・福祉学科	米田和子
手工芸・置物	6	うさぎ	B	29期・健康A	鈴木君代
手工芸・小物入れ	7	ピンクのぞうさん	D	一般	和田晴美
手工芸・ブローチ	8	ブローチ	D	33期・文化	太田敏子
手工芸・リース	9	クリスマスリース	D	33期・文化	太田敏子
手工芸・プリザーブド	14	クリスマスリース	D	32期・美術	各務喜代子
<陶芸>	1	陶人形	A	一般	石田牧子
	2	水差	A	一般	石田牧子
	3	小鉢	A	一般	石田牧子
	4	抹茶茶碗	D	28期・生活A	加藤宗一



	5	茶碗	D	28期・生活A	加藤宗一
	6	片口	D	28期・生活A	加藤宗一
	7	食器セット（お一人様）	B	22期・陶芸	太田早苗
	8	器	A	31期・美術	勝千恵子
<園芸>	1	福助	B	24期・国際	森晴生
	2	福助	B	24期・国際	森晴生
	3	福助	B	24期・国際	森晴生
<そよ風コーナー>	1	トトロ・トランポリン		一般	そよ風
	2	富士山アート		一般	そよ風
	3	鍋敷き		一般	そよ風
	4	鍋敷き		一般	そよ風
<ひまわりコーナー>					ひまわり

## 16区フェスティバルを終えて

笠東・鶴里 31期 健康A 安藤菊代

収束しないコロナウイルス感染症、マスクを外せない大変な状況の中で実施されることになった16区フェスティバル。

不安ばかりの本番は450名の参加で一人の怪我人も出さず、盛況に終えることができました。そんな中で何よりも嬉しかった事は、南鯨城会が皆さんの頑張りで玉入れ競技は1位！総合3位の成績を得たことです。

参加された皆さんは満たされたステキな笑顔の帰路となったことでしょう。



皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。





## 社会見学を実施して

大生 33期 生活A 山下 博和

久しぶりに実施した今回の社会見学は、名古屋大学の構内にある「減災館」という研究施設を訪問した。

来るだろうと言われて久しい東南海大地震に備え、いかに災害被害を少なくするのかをテーマに建てられた施設で、我々居住地の地盤状況等がピンポイントで判る優れたものだった。参加された方々が積極的に質問し納得される姿が印象的であり、これをきっかけに少しでも我居住区の被害縮小につながれば幸いである。





# 主な活動記録



鶴舞公園クリーンキャンペーン



堀川清掃大作戦



国道1号線沿い清掃



グランドゴルフ交歓会



郡上八幡バス旅行



## (^\_^)最近の私の過ごし方

桜 29期 国際B 加藤 政代

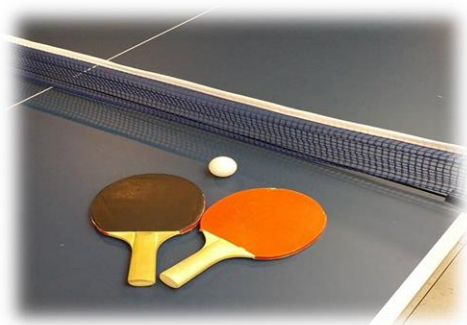
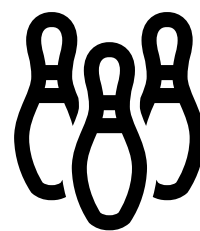
コロナが流行して以来、栄に出かけることは少なくなりましたが、その分桜学区のコミセンで行われている行事には参加する機会が増えました。

例えば火曜日のピンポン、木曜日の百歳体操、金曜日の麻雀など皆さん達と和気あいあい楽しく遊んでいる今日この頃です。それ以外でもボウリング月2回、朗読も月2回ほど。朗読は最近滑舌が悪くなったのを自覚して始めました。

中でも4月から誘われて始めたのは施設へのボランティアです。月に3~4回訪問しています。私自身も好きなことなので喜んで参加させてもらっています。自身の将来にとっても、とても参考になりギブ&テイクで素晴らしいことだと思っています。

健康でいられる限り全てつづけられたらなあ~と日々思う今日この頃です。

「空元気」と仲良くしながらね！



## “学生歌” 誕生の話

千鳥 B 20 期 環境 荒井 久治

広報委員長羽田さんは鯨城学園のコーラス部で活動していた当時おりにふれて“学生歌”を合唱していたとの話をされたので、その作曲は学園創立20周年記念式典の挙行に合わせ当時の学生から広く公募され、はからずも私が作曲したものが入選したと説明しました。18年も前の事ですが、この機会に当時の作曲にまつわるエピソードを鯨城学園の文化祭や社会的出来事を思い出しながら紹介したいと思います。

### 1) 鯨城学園創立二十周年記念式典で新しい“学生歌”披露

平成18年(西暦2006)3月28日午後名古屋市民会館大ホールで記念式典(図1)が学長の松原武久市長を中心に挙行され、来賓の市議会や教育委員会代表と19期と20期の学生が参加しました。松原学長の挨拶に始まり、続いて学生代表から最近の学生会、鯨城会等の学園の活動報告がされ、ハイライトとして20周年記念に私の作曲した学生歌がコーラス部により晴れの舞台上で合唱披露され(図2)式典を盛り上げました。式典のパンフレットには私の作曲した譜面も配布され私は大変感動しました。第一部の式典が終わると第二部として名古屋市フィルハーモニー交響楽団による明るくポピュラーな「ウイナ・ワルツの春の声、宮崎駿のアニメ曲のメドレー、美空ひばりメドレー(お祭りマンボ、リンゴ追分、川の流れるように)、浜辺の歌、椰子の実、早春賦、大きな古時計、サウンド・オブ・ミュージック」が演奏され式典を盛り上げました。

### 2) 上記式典に合わせた学園の新しい“学生歌”の募集の様子

式典の前年度、夏休み前の7月初めに“学生歌”の歌詞募集が出されました。歌詞への応募は、学園の秋の文化祭で環境に関する「劇」を環境学科全員参加で行うため夏休み中毎週一回構想を練り練習という多忙さで私は応募できませんでした。10月に入選歌詞が発表され、続いて“作曲”の応募要領が出されました。入選した歌詞は、なかなか新鮮で「人生の荒波を乗り越えて来た高齢者の知らぬ者同士が、何の因果か白川公園の学園に会いまみえ、同期生となった喜びを歌っている」と読んでいく内に…再び学ぶ嬉しさを 共に喜び 語り合う…のところでメロディーが浮かんで来た!このヒラメキは天からの贈り物である!と、その前後の曲のつながぎを考え入選出来ないかと作曲意欲が高まってきた。問題は歌い出しの「青葉萌え立つ白川に えにしつどいて 友となり」のところで高い音程から入り次第に下げて行くか?低い音から入り次第に上げていくか?迷い1か月間ほど検討する事にした。

### 3) 作曲と作品の提出 (11月30日提出期限)

提出期限が近づく11月18、19日の文化祭で環境学科は名古屋市のごみ処理場の「藤前干潟」の問題を劇にした。それは学長でかつ市長の松原さんのラムサール条約登録までの活躍と市民の協力を取りこんだ劇でした。環境学科の先生にも舞台に出てもらい本当の全員参加で終えた。クラブ活動は、社交ダンス部で全くの初心の私はホールのあの狭い舞台に5組が輪になって最初にワルツを踊り(図3)、途中からタンゴのメロディーに変わりタンゴを踊り出すといった初心者には誠に難しい複雑な事をやる事になった。その頃マツケンサンバの流行期で体育祭や文化祭での入退場時にその派手な音楽をかけた覚えがある。それが18年後のこの頃マツケンサンバ2がはやりだし時代は繰り返している。文化祭という最大の学校行事を終え、息つく暇もなく作曲作品の締め切り日が1週間内に迫っており早速、娘夫婦と私共夫婦の4名で合唱ステレオレコーダーに録音する事にした。娘がピアノを弾き、歌い始めが低い音から次第に高音になって行く譜面に従い歌い出した。全員の声もそろい良かったので、これでいいじゃないかと、少し譜面の訂正を入れまとめ上げた。応募作品の作曲にもイントロ入の学生歌を仕上げ学園指定

の投書箱に譜面（図4）とカセットテープを入れた。結果は12月の中旬に担当の先生から学生歌として採用されたとのお話があり19, 20期生の全員参加の朝礼の機会に講演ホールで選考過程の紹介と作詞者と作曲者の私が表彰され賞状と記念品頂いた。結果は卒業式の式典で使われ、コーラス部の合唱の練習曲として使われるようになりました。その後も鯉城学園の30周年記念式典でも歌われ、現在も学生歌として歌われています。なお、振り返ると学園への入学は3回落選、4回目で70歳寸前に入学出来ました。困難な入学の結果？その時の春に「愛・地球博」が瀬戸会場・長久手会場で開かれ会場へはリニアモーターの鉄道路線が開通し大変記念すべき年となった。当時の長久手会場のモリゾーとピッコロのキャラクターの家の跡に最近ジブリパークがオープンし「トトロの世界」が表現され開業し、近い将来は「もののけ姫」や「魔女の宅急便」関係の展示が話題になっている。当時、私は学園とは別のウクレレ同好会で「瀬戸会場」で誕生日や結婚記念日に入館された人を歓迎するための演奏場所でハッピーバースデーやハワイのウェディングソングなどを歌い歓迎行事に参加しました。なお学園の文化祭で苦戦した社交ダンスは、幸い健康とボケ防止の効果があり今でも同好会で頑張っています。皆さんも何歳になっても身体を動かしボケ防止と健康を保ち人生を楽しみましょう。

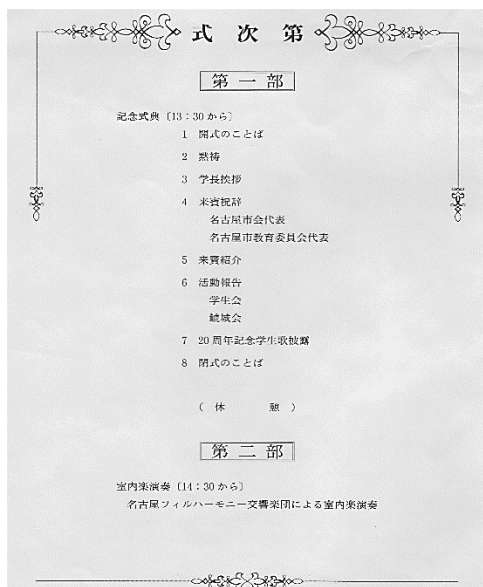


図 1



図 2



図 3



図 4



## 熱田の森に学ぶ

道徳 20期 環境 櫛田 諄造



熱田神宮は、名古屋の南部、熱田台地に広がる緑豊かな森に鎮座し、市民からは「熱田さん」と親しく呼ばれ、また「心のふるさと」として、敬愛されている。

我が家は、「熱田さん」から南方へ3キロ程の道程で、1 昨年春から、コロナ禍の最中に、健康寿命延長目的で、「直立二本足歩行」の、早朝散歩を始め身体になじんで来た。

「熱田さん」は、三種の神器で名高い「草薙の剣」が祀られている。神苑の広さは、名古屋ドーム 2 個分ほどの森で、樹齢千年を超えると言われる巨樹が数本樹立し、昔不老長寿の仙人が住む理想郷と古書にも記され幻想的な雰囲気を醸し出している。

その森の北端に、「熱田さん」は毅然と鎮座している。四季折々、朝日の輝き・樹木の表情・鳥のさえずり・空の景色は、早朝散歩の私を包み、幸福を感じさせてくれる。

「熱田さん」の建築様式は、唯一神明造の伝統的木造社寺建築である。現在の神殿は 20 年ごとに行われる、伊勢神宮遷宮で発生した、廃材が有効に再利用され、平成 21 年改築が終っている。また数々の、遺跡も復元整備された。その効果で、「熱田さん」は、市民との親しみが更に深まった気がする。

境内の遺跡をたどると、神殿の外周に織田信長が奉納したと言われる「信長塀」の一部が、当時の状態で残っている。それは永禄三年桶狭間の戦い出陣の際に願文を奏し、そのおかげで大勝し、天下統一の一步となった御礼に奉納したと言わ





れている。

「信長塀」は、まだセメントの無い時代、土と石灰を油で練り硬め、力骨に瓦を挟んで厚く積み重ねたもので、瓦屋根で風雨による土の崩落を防いでいる。また構造的には下部に膨らみを施し、「信長塀」全体の安定を計っている。

また美観的に、天然素材の土と瓦の持ち味を存分に発揮した、素朴で温もりのを感じる雰囲気醸し出し、私はこの「信長塀」を、先人の知恵がたくさん籠もった、貴重な文化遺産だと思っている。

昨年秋、境内の中央部に広がる、古い池の周辺が、「草薙広場」と名付け整備された。池の周りの水路には、弓状に反った橋桁に、板石を25枚並べた、「二十五丁橋」。

また熱田のお化け灯籠と呼ばれる、高さ八メートルほどの日本では3本の指に入る、「佐久間灯籠」が復元された。これらの遺跡はすべて、天然石の花崗岩が使われ、この時代の緻密な加工技術・重量物構築技術には、目を見張るばかりだ。

また神殿の裏、高低差5メートルほどの崖下に、広さ畳10枚ほどの玉石に囲まれた水溜に、静かに水が湧き出しまつられている。昔この水で、楊貴妃が顔を洗ったと云う寓話が残っていて、この水で顔を洗うと、奇麗になると云う噂もあって、女性の参拝者が絶えない。

私は過日、高齢者には無理だと言われる、この崖下にまつられた「湧き水」参拝を企て、「老骨に鞭打ち」決行することにした。当日は特に足元に注意して、一般参道から、細い参道に入り慎重を重ねながら、崖下の「湧き水」がでる平場に向かった。

しばらく降ると、大きな天然石で築き固めた、七段ほどの石階段が現れた。その石階段の表面は、長い間多くの参拝者で踏み慣らされ、つるつるした滑らかな状態だ、私はその階段を、恐る恐る、バランスを保ちながら、なりふり構わず慎重に降り始めた。

すると、突然、見知らぬ女性の、優しい救いの手が差し伸べられた。私は迷わずその手にすがりつき、無事目的の平場に着地し、念願の「湧き水」参拝が達成できた。

私は今、この見知らぬ女性の、「人の難儀を見ても見ぬふりすること無く」手を差し伸べた「温もりある、素直な優しさ」を、呼吸が止まるまで忘れない。







## 名古屋城あれこれ (その5)

笠寺(2) 31期 地域B 各務 文治

今号は、石垣の石の割り方、採石場所、運搬の方法などについて、名古屋城検定の過去問を基に考えてみたいと思います。

まず次の過去問を解いてみてください。上級は初級・中級のように4つの選択肢の中から選ぶのではなく、文字で書いて答えなければなりません。

### ● <第12回 令和3年11月13日(土)・第13回 令和4年11月12日(土)実施の上級級問題>

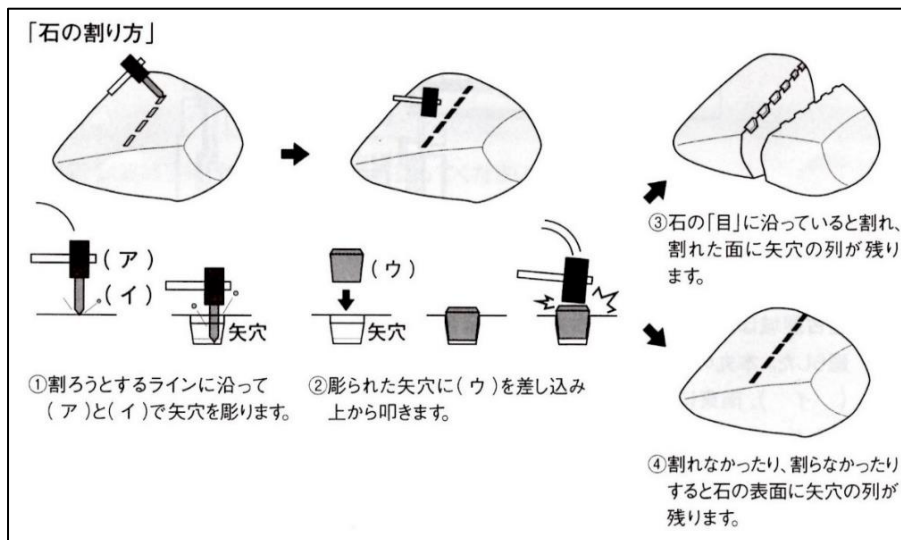
名古屋城の石垣普請のために、尾張北部や三河湾沿岸、美濃など各地から多くの石が集められました。次の写真は、現在、名古屋市中区三の丸にある名古屋能楽堂の南に置かれている石で、採石場に残されていたものです。



(1) 写真を見て、石を切り取るために付けられた、波線部のノミの跡を何といいますか。

また、この石が残されていた採石場は、三河湾の何という島にあったでしょう。(第13回)

(2) 次の「石の割り方」の図で使われているア～ウの道具を何というでしょう。(第12回)



<第1問の正解>

(1) ノミの跡: 矢穴  
島名: 篠島

(2) ア: セットウ(石頭)  
イ: ノミ(鑿)  
ウ: ヤ(矢)

### <石材の切り取り方>

石の切り取り方は、「石の割り方」の図のように、石の「目」の沿ってセットウとノミで矢穴をあけ、その矢穴の中に、ヤ(くさび)を打込みます。石の目に沿っていれうまく割れます。上の写真の石はうまく割れず、そのまま篠島に残されたものかも知れません。

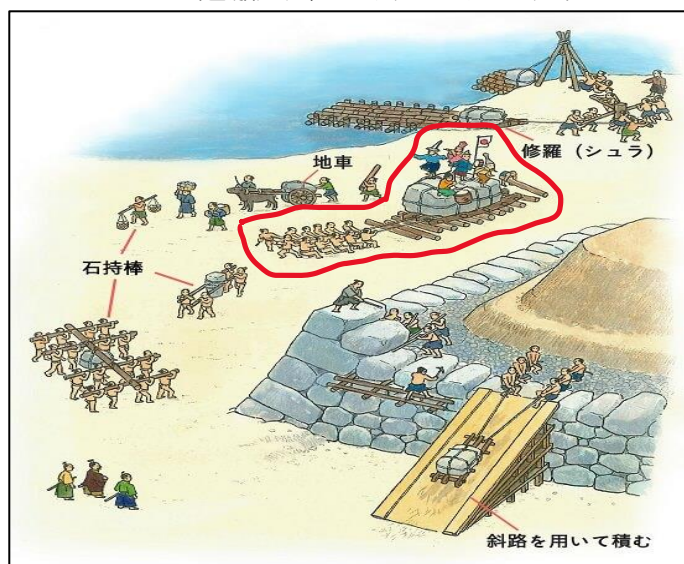


## <名古屋城の石垣に使われた石材の主な採石場は>

築城期の石垣用石材の主な採取場所は、名古屋城の近くでは、小牧市の岩崎山、瀬戸地域、西尾市周辺の三河湾沿岸、少し離れて、岐阜県海津市周辺の養老山系、三重県尾鷲地域が中心と考えられています。はるか遠くでは、瀬戸内海沿岸や九州の唐津周辺、四国の土佐南西部などもあったと報告されています。『近世城郭の最高峰 名古屋城』より)

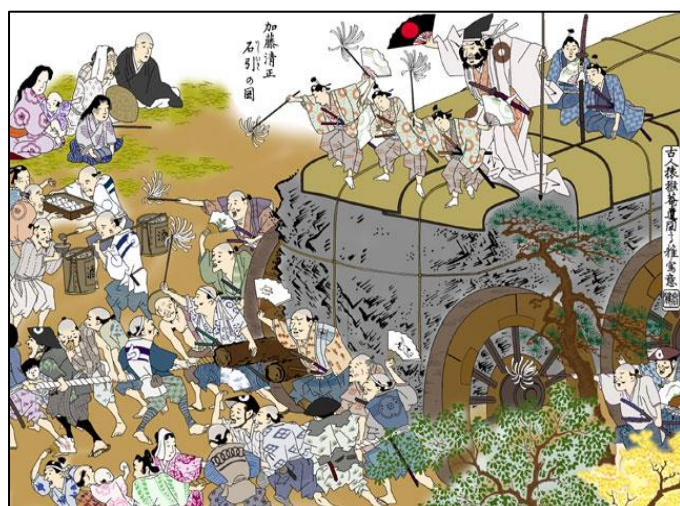
## <大小の石材の運搬方法>

A 図 石の運搬方法(イラスト西川元太郎氏)



では、採石場で切り出された大小の様々な石は、どのようにして運ばれたのでしょうか。まず、海や川を利用して石船で運ばれてきた石が陸揚げされます。その一例が、A図右上部分のイラストです。陸揚げされた石は、陸路を運びます。特に巨大な石は、A図の赤線で囲んだ部分のように、修羅(木を組んで作ったソリ)の上に巨石を乗せ、その下に車輪の役割をするコロを敷いて大勢の人足に引っ張らせて運びました。巨石の上には、楽師らが乗って音頭を取り、人足たちを鼓舞して曳かせることもあったようです。名古屋城の場合も、多くの巨石は、このようにして運んだと考えられます。B図は、『尾張名所図会』の「加藤清正石引の図」をイメージ着色されたものです。この図では修羅ではなく、大きな木の車輪を付けた台車に巨石を乗せ、その上に清正らが乗って綱を引っ張っている人々をはやし立てています。

B 図 加藤清正石引の図



こうして運ばれた巨石は、城内の石切り現場で上記過去問(2)のような手順で適度な大きさに割り、石垣に組み込んだと考えられます。また、B図のように巨大な石ではなく、やや大きめの石は「石持棒」という2本の棒で石を挟んで、縄で縛り付けて何人かで運び(A図参照)、小さめの石は籠に入れて背負ったり、もっこを使って運んだりしたようです。それにしても、重機のなかった時代に大小様々な石を運ぶのも、運ばれた石を石垣に組み込むのも並大抵の仕事ではなかったと想像されます。

## 「川棚のくすの森の再生力に感動」

笠東.鶴里 33期 福祉 高島洋一

最近は自転車を車に積んで、日本各地のジオサイト(地質百選等)、巨樹(新日本名木百選等)、史跡等を目的地に走り回っています。今回は川棚のくすの森について紹介いたします。

川棚のくすの森は、山口県下関市から約 25km 北方にある川棚温泉に生育しています。このくすの木は樹齢 1000 年以上、大正 11 年(1922)に国の天然記念物に指定されました。又、新日本名木百選にも選定されています。

樹木の規模は、正幹周 11.2m、樹高 27m、主幹からは地上 5m あたりから 18 本の大枝が四方へと延び、最長の枝は 27m にも及び、大枝のうち 2 本は、一度地面に接して潜ったのちに再び地上に現れて(伏条萌芽)葉を茂らせています。葉の先端を結んだ下地面の外周(樹冠投影)は 180m に達します。多くの大枝が幹の途中で分岐した特異な外見と旺盛な樹勢から、伝説上の大蛇「八岐大蛇」に形容されます。

元気だった頃

私は昨年NHKでこのくすの木の再生の状況を観て興味を持ち、令和 4 年 5 月に長崎帰省のついでに初めて立ち寄りしました。そしてこの異様な雰囲気にも鳥肌が立ち帰省の際は立ち寄って再生状況を観察していこうと思いました。



このくすの木の衰退は 2017 年 7 月に急激に枯れ始めほぼ葉がつかなくなったそうです。樹木医の診断を受け著しく不良と診断され、その後の調査で根はほとんど腐っておりわずかに胴吹き芽だけが生えている状況だったそうです。原因は特定されていませんが、公園化による盛土工事が根への酸素供給を絶ち樹勢に悪影響を与えたと推定されています。土壌改良は継続中で、胴吹きした芽が安定して枝を増やしてきているとのこと。樹木医は潜伏芽から萌芽していったのではないかとされていました。

潜伏芽とは幹や枝が伸びるときに葉の付け根(葉腋)にできた側芽(腋芽)が翌年芽吹かずにそのまま眠った状態で幹の表面に維持されているもので、樹皮の下に沈んでいるので「潜伏芽」と呼ばれているそうです。樹木が枝分かれのために作った腋芽を全部伸ばさずに、いざ萌芽を出すためのために備えているそうです。樹木が自然界を生き抜く力は素晴らしいと感動しました。

2017年7月枯れ始め冬にほとんど葉が落ちた



2022年5月萌芽した芽が安定して増えている





## にーごー(25)会 健康の森散策

星崎 24期 国際 森 晴生

10月25日、澄みきった青空の下、12名の参加でJR大府駅を出発。健康の森迄約30分か



けて歩き、到着後は約5.1kmある樹々が  
生き茂る公園内の歩道を、生きもの達  
の谷を横目で見ながら、ふるさとの森か  
ら球技場を通り、健康ロードから大芝生  
広場を抜け、いのちの池の周回りフレッ

シュコースを通過して愛知健康プラザへと歩を  
進めました。一時、中を見学等した後、再び健  
康の森を通り、げんきの郷へと向かいここで昼  
食タイムとなりました。当日は、暑くもなくな  
く寒くもなく絶好のウォーキング日和で、快適  
な一日を過ごす事ができました。が、まだまだ



歩いてない場所がありますので、残っている処は、日を改めて計画したいと思っています。その  
節は、是非参加して頂きたく願います。参加された皆様お疲れ様でした。





## パソコン同好会 活動報告

大生 29期 陶芸 島田 謙二

今年も例年通りに第1と第3火曜日に南区生涯学習センターにおいてパソコン教室が開催されました。

内容はWORDのテキストを使って『アウトラインを使って文書の構成を編集する』『宛名を差し込んで印刷する』『フォームを使って入力効率をあげる』等々のWORD関連の操作方法を学びました。又、松川講師の手作りマニュアルによる『2023年度のカレンダー』の作成も行いました。

本人はマニュアル通りにやったつもりでも間違った操作をしたことによると思われる予想外の結果に、もどかしさを覚えることもありました。然しながら、うまくいった時には ささやかな満足感や充実感を感じる事ができました。

パソコンは やってみると楽しい事が多いと思います。

パソコンに関心のある方は、ぜひ遊びに来てください。

お待ちしております!!



## 短歌

宝十九期 文化△ 廣瀬敏雄

- 一、年老いて執着淡くなりゆくか未だに本棚片かざりし
- 二、いかずちの音に目覚めて外を見れば庭木は白き綿帽子
- 三、冬至来る好みでもないカボチャ煮て一陽来復願いて食す
- 四、日の丸の重責背負いアスリート世界の敵に勝たねばならぬ
- 五、性格の合わない兄だが亡くなってただ悲しくて涙止まらず

俳句

菊住 二十七期 文化A 才野良子

山茶花の紅白散りて地を染むる

枯芝や青き雑草守ること

冬の朝目覚し止めて床の中

天地を染めゆく子しきい細しきい初日出

しらじらと沈丁弾け香に咽せる

笠東・鶴里 三十三期 文化A 太田敏子

秋赤音シャツに止まりてどこへ行く

サッカーの声なき拍手こだまする

柚子一つ風呂に浮かべ温まる

ササユリのおとめのごとき立ち姿

ひっそりと鮎のすみかにいと垂れる



令和5年度 南鯉城会(こなみ会)役員名簿 (会員数 132名)

役員名簿 (敬称略)				区会委員名簿			
役職名	期	氏名	電話番号	役職名	期	氏名	電話番号
会長	32	子安 正昭	090-9028-5521	社会奉仕委員長	32	森田登志雄	080-1575-4828
副会長	32	森田登志雄	080-1575-4828	社会奉仕委員	30	野田 義夫	822-0247
〃	33	山下 博和	090-2684-0400	〃	32	子安真知子	090-7602-3294
顧問	29	大田 雅巳	090-4621-5735	〃	33	太田 敏子	090-5033-9498
顧問	31	伊藤 敏春	614-2098	〃	33	高島 洋一	090-8953-5292
会計監査	29	大田 雅巳	825-5018	ボランティア調整担当	32	森田登志雄	080-1575-4828
鯉城会幹事	33	高島 洋一	090-8953-5292				
鯉城会図書	29	垣内 洋子	090-6093-0485				
〃	32	子安 正昭	090-9028-5521	Aブロック長	31	鈴木加代子	090-9929-7490
学園サポーター	32	子安 正昭	090-9028-5521	幹事 伝馬	32	森田登志雄	080-1575-4828
〃	33	稲垣 政裕	090-4448-7050	〃 明治、豊田	31	勝 千恵子	090-9187-6258
総務	31	安藤 菊代	811-7625	〃 道德	31	鈴木加代子	090-9929-7490
総務	32	子安真知子	090-7602-3294				
会計	32	鶴見恵利子	811-6758	Bブロック長	29	木村 満治	090-9184-2460
会計	32	各務喜代子	090-1744-8927	幹事白水・柴田・千鳥	33	羽田 年克	080-5117-4816
行事委員長	33	山下 博和	090-2684-0400	〃 星崎	24	森 晴生	090-1566-4141
〃 補佐	28	岡田 光二	090-9026-9203	〃 宝南・宝	29	鈴木 君代	090-1747-3679
〃 補佐	31	早川 洋一	090-3552-2514	〃 大生	31	中辻 美枝子	090-9260-6663
行事委員	31	遠藤 源吉	691-2430	Cブロック長	25	竹内 孝明	090-7959-0218
〃	31	勝 千恵子	694-1943	幹事 大磯	25	竹内 孝明	090-7959-0218
〃	32	鶴見恵利子	811-6758	〃 呼続1	32	鶴見恵利子	811-6758
〃	32	各務喜代子	090-1744-8927	〃 呼続2	23	稲垣喜美子	823-3516
〃	32	望月 徹也	090-3256-2749	〃 呼続2	29	米田 和子	090-1624-3398
〃	33	森 伸子	090-7672-2497	〃 菊住	31	杉浦 和司	090-7673-2674
広報委員長	33	羽田 年克	080-5117-4816	Dブロック長	31	安藤 菊代	811-7625
〃 補佐	29	木村 満治	090-9184-2460	Dブロック長補佐	28	岡田 光二	090-9026-9203
〃 補佐	31	杉浦 和司	090-7673-2674	幹事 笠寺1	31	野田 義夫	090-9929-2218
ホームページ担当	33	羽田 年克	080-5117-4816	〃 笠寺2	26	畑中 則雄	090-9901-1023
				〃 春日野1	29	後藤 和貞	080-3613-8494
				〃 春日野2	29	後藤 和貞	080-3613-8494
				幹事代理 桜	28	岡田 光二	090-9026-9203
				幹事 笠東・鶴里	33	太田 敏子	090-5033-9498
<b>【社会奉仕活動】</b>				<b>【社会奉仕活動】</b>			
☆公園清掃 呼続公園 毎月・第1月曜日 8:00～				呼続公園愛護会代表	29	平野 幸代	811-8081
☆公園清掃 笠寺公園 毎月・第2月曜日 8:00～				笠寺公園愛護会代表	26	畑中 則雄	821-2479
<b>【同好会・クラブ活動】</b>				<b>【同好会・クラブ活動】</b>			
☆ペタンク 同好会 毎週日曜日 8:30～10:00 場所: 呼続公園				ペタンク同好会代表	19	瀬口 勝	090-6614-6411
☆ニーゴ(25)会 毎月25日 10:00～				25(にーご)会代表	24	森 晴生	090-1566-4141
☆パソコン同好会 毎月第1・3火曜日10:00～12:00 場所: 南生涯学習センターIT室				パソコン同好会代表	29	島田 謙二	090-1757-8349
☆グランドゴルフ同好会 毎週木曜日 9:00～11:00 場所: 呼続公園グランド				Gゴルフ同好会代表	25	竹内 孝明	090-7959-0218
☆軽めのハイキング 適宜計画				軽めのハイキング代表	29	大田 雅巳	090-4621-5735
☆ボウリング同好会 適宜計画				ボウリング同好会代表	31	伊藤 敏春	090-9185-2932
☆南区歴史愛好会 原則毎月第4金曜日				南区歴史愛好会代表	29	鏡味 保男	090-1230-5974
☆ゴルフ同好会 適宜計画				ゴルフ同好会代表	31	伊藤 敏春	090-9185-2932
☆料理クラブ(休止中) 偶数月第4月曜日 場所: 南区役所5F調理実習室				料理クラブ代表	31	鈴木加代子	090-9929-7490

## 令和5年1月～4月「こなみ会」行事予定表

月	日	行 事 予 定	会 場
1月	未定	熱田神宮参拝・新年会	
	21日(土)	定例会議(9:30～)	笠寺コミセン
	21日(土)	令和5年度役員選出、活動計画検討	笠寺コミセン
	21日(土)	「こなみ会だより」第58号発行	笠寺コミセン
	21日(土)	年会費納入依頼	
2月	11日(土)	年会費納期	
	18日(土)～	定例会議(9:30～)	笠寺コミセン
3月	12日(日)	名古屋ウイメンズマラソン	コース沿道ボランティア
	18日(土)	定例会議・役員引継ぎ(9:30～)	笠寺コミセン
4月	8日(土)	総会準備	笠寺コミセン
	15日(土)	定例会・令和4年度総会(9:30～)	笠寺コミセン

注) 新型コロナ・ウイルスの状況により、諸行事や活動がやむなく変更や中止になる場合があります。なお、同好会・クラブなど個別の活動については、代表者にご確認いただくようお願いします。

### 「編集後記」

「こなみ会だより 58号」も会員皆様からの投稿に支えられ、無事発行することができ、お礼申し上げます。

新型コロナ・ウイルス感染状況は、一昨年の12月には低水準に落ち着いたものの、昨年正月3が日を過ぎるとまたしてもオミクロン株感染者があつという間に急増。今年も感染者数は減らない中、行動制限が緩和されるという私たちにとってははより注意が必要な状況にあります。

こなみ会の活動も昨年は皆様の協力により、コロナ禍以前の活発さを幾分か取り戻すことができました。以前厳しい状況の中、万全の対策を取りながらに諸活動を活発にしていきたいと思います。

次号が楽しいものになるよう引き続きご協力をお願いいたします。

発 行 者            名古屋市高年大学鯉城学園・南鯉城会（こなみ会）

発行責任者        南鯉城会会長    子安 正昭

編集責任者        広報委員長     羽田 年克